

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	第3回伊勢崎市民病院経営検討委員会
開 催 日 時	令和5年10月12日(木) 午後1時15分～午後2時45分
開 催 場 所	伊勢崎市民病院10階大会議室
出 席 者 氏 名	<p>(委員) 林泰秀委員、横山京子委員、斎藤高敏委員、大澤誠委員 中西保委員、内山道広委員、加藤珠美委員</p> <p>(事務局) 小林病院長、大林副院長、竹澤副院長、富田副院長、 田村副院長、小此木副院長兼経営企画部長、 木村副院長兼看護部長、高尾民生専門委員、 松原経営企画部副部長兼総務課長、茂木財務課長、 須齋医療サービス課長、本間地域医療連携室長補佐 桑名総務課長補佐兼企画係長、長岡総務課長補佐兼企画係長、 松井主任、石倉主事</p>
傍 聴 人 数	0人
会 議 の 議 題	<p>伊勢崎市民病院経営検討委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度収支状況について (2) 経営強化プランの記載事項について <ol style="list-style-type: none"> 4 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組について 5 施設・設備の最適化について 6 経営の効率化について (3) 経営強化プラン策定に関するそのほかの検討内容について <ol style="list-style-type: none"> ① 目標に向けた具体的な取組について ② 経営強化プランの点検・評価・公表について (4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・経営強化プラン策定に当たっての意見のとりまとめについて 3. 閉会

<p>会議資料の内容</p>	<p>(事前配付した資料)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第3回 伊勢崎市民病院経営検討委員会会議 次第 2. 資料1 令和4年度収支状況(統括) 3. 資料2 経営強化プランの記載事項について及び経営強化プラン策定に関するそのほかの検討内容について
<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>第3回伊勢崎市民病院経営検討委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度収支状況について <p>事務局 [令和4年度収支状況(統括)] について説明。</p> <p>会長 質問や意見はありますか。</p> <p>【質疑】</p> <p>委員 各指標の目標値は年度ごとに定められていると思いますが、資料は令和4年度の改革プラン目標値のみの記載となっていますがなぜでしょうか。</p> <p>事務局 今回の報告が令和4年度の収支状況であったため、令和4年度の改革プラン目標値を示しました。御指摘のとおり、年度ごとに目標値が設定されているため、それらが分かるように作成する、または、現行計画は令和5年度が最終目標でありますので、令和5年度の目標値で作成するのも1つの方法だったと考えます。</p> <p>委員 紹介率の実績値を算出する時に、県の調整センターから紹介があった新型コロナウイルス感染症の患者数は含まれていますか。</p> <p>事務局 紹介状を持った患者を集計しておりますので、県が設置した入院調整センターから紹介のあった患者数は含まれておりません。</p> <p>委員 収益及び費用の中に、介護老人保健施設事業と訪問看護事業が含まれていないと以前説明がありました。介護老人保健施設には、病院職員が兼務されていると思いますし、訪問看護事業も同様と思われます。これらを収支状況に反映させなくてよいのか、考え方をお聞かせください。</p> <p>事務局 令和2年度に地方公営企業法の全部適用となり、</p>

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>介護老人保健施設事業と訪問看護事業は附帯事業とされ、市民病院としては、3つの事業を一体的に管理しております。今回の経営強化プランについては、これまで作成した計画と同様に病院事業のみで作成するものと認識しているため、資料は病院のみで作成しております。</p>
	<p>委員 できれば今後参考に、附帯事業も含めた資料提供があると良いと思います。</p>
	<p>委員 1日当たり入院患者数の目標が未達成であることについて、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている影響があるとのことですが、これまで新型コロナウイルス感染症患者用に空床確保していた部分があるかと思いますが、そのあたりはどうなっていますか。</p>
	<p>事務局 新型コロナウイルス感染症の病床を確保するためには、休止病床とセットで確保しなければなりません。そのため、一般患者を受け入れる全体の病床数が少なくなったため、入院患者数に影響があったと考えます。また、クラスターは通算4回発生しており、その期間は70日程度ですが、新規入院を停止していました。令和4年度にあった、第7波、第8波の影響が大きかったと認識しています。</p>
	<p>委員 医師数について、診療科ごとに増減があるようですが、不足している診療科は何か対策をされていますか。</p>
	<p>事務局 精神科、眼科、脳神経外科で医師が不足しています。また、病理診断科については、現在常勤医1名であり、大学からの非常勤医師で補っています。一般的に小児科や産婦人科などの患者に直接対応する診療科は不足しているとよくいわれますが、群馬県では、病理診断科の医師数が極めて少ない状況です。手術後の病理診断はとても重要であり、手術数も多くなっているため、行政の方にもサポートしていただきたい分野であると考えております。</p>
	<p>会長 スライド3の支払利息について、大きく減少した要因は何かありますか。</p>
	<p>事務局 減少した要因は、以前購入した医療機器などの利息が終了したことによるものです。</p>

会議における議事の経過及び発言の要旨	(2) 経営強化プランの記載事項について
	事務局 [4 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組]について説明。
	会長 委員から質疑等がありますか。
	【質疑】
	会長 地震などの災害時における体制と新興感染症における体制は同じフロー図を使用していますか。
	事務局 一般的な災害と新興感染症に対する体制は組織体系に違いがあり、フロー図は新興感染症における体制を表しております。
	委員 感染管理認定看護師がこれまで活躍されてきたと思いますが、今後このような専門性の高い看護師の養成への取組はどのようにお考えですか。また、フロー図のどのあたりに感染管理認定看護師が含まれるのかお聞かせください。
	事務局 現在、当病院には2名の感染管理認定看護師が勤務しており、昨年度、感染管理認定看護師の取得課程を修了した1名が今年度の試験を合格すれば3名になる予定です。また、感染管理認定看護師を中心にリンクナースの教育に当たっており、各現場で感染管理を行っています。 感染管理認定看護師は、災害対策本部では、感染管理統括に感染管理認定看護師が含まれており、災害対策チームでは、医療安全管理室に属している感染管理係に含まれています。
	委員 資料で示されている災害対策本部などは、新型コロナウイルス感染症が流行している時期は設置されていましたか。
	事務局 新型コロナウイルス感染症流行後の令和3年に正式に策定しました。新型コロナウイルス感染症の初期の流行期では、このような体制で活動していました。
	委員 今後このような体制でうまく機能していたかどうかの検証はされるという認識でよいでしょうか。
	事務局 そのとおりです。
	事務局 [5 施設・設備の最適化]について説明。
会長 委員から質疑等がありますか。	

会議における議事の経過及び発言の要旨	委員	[意見等なし]
	事務局	[6 経営の効率化]について説明。
	会長	委員から質疑等がありますか。
	【質疑】	
	委員	県内でも多くの新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるなど二次医療圏のみならず急性期病院としての役割を果たされていると思います。しかし、高度な医療を担っていくことや救急の部分は、経営の効率化とは相反する部分も多いことと思います。 そういった観点で、1日当たり外来患者数について、限られた職員数の中で多くの患者を診てしまえば現場はどんどん疲弊します。経営の効率化を考える上で、外来患者数は欠かせない指標だと思いますが、外来患者数を増やすことが目標なのか考えをお聞かせください。
	事務局	伊勢崎地域の基幹病院として、公的な部分を背負っているため、非採算的な部分も維持しなければならないと考えております。外来患者については、国が進めるようにかかりつけ医にお願いし、何かあれば紹介していただく流れを今後とも推進していきたいと考えております。また、外来患者数は指標として明記していますが、増加していくことを目標としてはいないものです。
	委員	最低賃金の引上げや物価高騰の中で、人件費の引上げは避けては通れない部分だと考えますが、経費削減に係るものとして職員給与費が含まれていることについてどのようにお考えですか。
	事務局	以前の国の改革プランでは、人件費はコストであるというような考え方が多かったですが、最近のプランでは、人件費は戦略や収益を担うものであるという考え方に移行してきています。また、経営の安定性に係るものとして、医師・看護師の確保が求められています。削減するというよりも適正な給与費を確保するという意味合いで捉えていただき、指標への掲載については、今後議論していきます。
	(3) 経営強化プラン策定に関するそのほかの検討内容について	
	事務局	〔① 目標に向けた具体的な取組〕について説明。
会長	委員から質疑等がありますか。	

会議における議事の経過及び発言の要旨	【質疑】	
	委員	診療材料費については以前より膨らんできているわけですが、今後どのように抑制していくか、具体的な考えはありますか。
	事務局	これまでは専門業者に委託をし、他病院の市場価格の調査を行ってもらい、当病院の目標値を設定して業者と価格交渉を行っています。今後は、共同購入などの活用を検討して、診療材料費の抑制に努めてまいりたいと考えています。
	委員	地域医療支援病院として地域連携を進められていると思いますが、検査機器の共同利用の推進がまだ不十分に感じています。開業医に分かりやすく周知していただければと考えますがいかがですか。
	事務局	読影の問題もありますので、すぐに改善できないかもしれませんが、地域医療連携室で周知方法や予約方法について検討してまいります。
	事務局	〔② 経営強化プランの点検・評価・公表〕について説明。
	会長	委員から質疑等がありますか。
	委員	〔意見等なし〕
	(4) その他	
	事務局	〔経営強化プラン策定に当たっての意見のとりまとめ〕について説明。
	会長	委員から質疑等がありますか。
	委員	〔意見等なし〕
	3. 閉会	